

仕事付き
高齢者住宅

フローラ西一之江

◆元気なシニアに<住まい>と<仕事>をセットでご紹介◆

都営新宿線「一之江」駅よりバス7分 バス停「西一之江四丁目」より徒歩2分



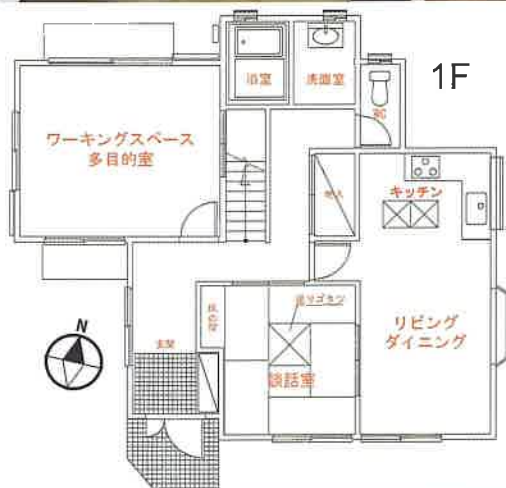
★スタッフからのおすすめコメント★

3月OPENの仕事付き高齢者住宅『フローラ西一之江』です。外出するのが難しいこの時期だからこそ、気の合うルームメイトと一緒にいきいきと働きながら楽しく暮らしませんか？安心・快適な住環境を目指し、感染症対策にも気を配っています。

賃料・共益費一覧 (各部屋鍵付き)

号室	賃料	共益費※
201(洋室)	52,000円	15,000円
202(洋室)	47,000円	14,000円
203(和室)	51,000円	14,500円
204(和室)	34,000円	12,500円

※共益費には水光熱費等含まれます。



- 女性専用+*
- 各居室カギ付き+*
- 共用部家具・家電設備+*
- 各階トイレ完備+*
- バスルーム完備+*
- 洗濯機完備+*
- インターネット無料提供+*

物件名 : フローラ西一之江
 住所 : 東京都江戸川区西一之江4-8-14
 構造 : 軽量鉄骨造2階建て
 間取 : 1R
 広さ : 138.23㎡(建物全体) 8.8~14.7㎡(個室)
 築年月 : 1989年
 総戸数 : 4戸
 入居可能日 : 2021年3月初旬以降
 最寄り駅 : 都営新宿線「一之江」駅よりバス・徒歩9分

契約条件

- 定期借家契約364日間(再契約可)
- 保証会社利用必須(契約料:賃料・共益費×50%~)
- 火災保険利用必須
- 契約事務手数料 賃料一か月分
- 退去時クリーニング費等精算



一般社団法人 生涯現役ハウス

(管理:ブラザーフード・アンド・カンパニー)

〒132-0023
 東京都江戸川区西一之江4-8-14
 TEL: 0120-407-657

管理会社:
 株式会社ブラザーフード・アンド・カンパニー
 〒162-0846
 東京都新宿区市谷左内町5番地 Lowp2F
 定休日/祝日 営業時間/10:00~19:00

シニアの住まい多様化 孤立避けシェア生活 [風紋](#)

2021年7月4日 11:16 (2021年7月4日 11:35更新) [有料会員限定]



リビングで談笑する入居者2人とスタッフ(右)=東京都江戸川区のフローラ西一之江

「気の合うルームメイトと一緒にいきいきと働きながら暮らしませんか」

今春、東京都江戸川区に1軒のシェアハウスが誕生した。物件名は「フローラ西一之江」。宣伝文句を読む限り、最近若者に定着したシェアハウス……かと思いきや、入居者の顔ぶれがちょっと独特だ。現在の住人2人はいずれも70代の女

性。希望者に求人を紹介する仕組みも備え、全国初の「仕事付き高齢者住宅」をうたう。

区の空き家対策事業を活用し、6LDKの2階建て住宅をリフォームした。2階の4室をそれぞれ入居者の部屋に充て、リビングや台所、風呂などは共用だ。具体的な年齢条件は設けていないが、働きながら自活する60～70代の女性を想定しているという。

なぜシェアハウスを選んだのか。71歳の女性は「一人暮らしのときは寂しさに堪えられず、就寝中もテレビを付けっぱなしだった」という。74歳の女性は「ここなら孤独死の心配もない」。昼間は別々のパート先へ。夕食後は居間でおしゃべりに花を咲かせ、休日はお互い自由に過ごす。「つかず離れず」の距離感が心地よいそうだ。

一人暮らしの高齢者にとって住居の問題は切実だ。健康に問題がなくても、年齢を理由に賃貸契約を断られることが少なくない。不測のけがや病気への不安もある。一般社団法人、生涯現役ハウスの持田昇一代表理事がフローラを開設したのは「元気な高齢者に新しいライフスタイルを提供したい」という思いからだ。

高齢社会白書によると、2015年時点で65歳以上の単身世帯は女性が約400万人、男性が約192万人に上る。高齢化や核家族化によりその数は今後も増え、40年には女性約540万人、男性約356万人に増えると推計されている。女性は4人に1人、男性も5人に1人が独居生活を営むことになる。

シニア同士だけでなく、高齢者と若者が一つ屋根の下という選択肢も徐々に増えてきた。京都府は、同居を希望する高齢者世帯と大学生らを仲介する事業を16年から始めた。「次世代下宿」と銘打ち、高齢者宅の空き室を学生に提供しても

らう。延べ43組がマッチングした。利用した高齢者からは「生活の張り合いができた」といった感想が寄せられているという。

東京都健康長寿医療センター研究所の藤原佳典研究部長は「他の人との交流は心身の機能維持につながる。様々なタイプの住まい方ができた方がいい」と話す。将来的に住人の介護や生活支援が必要になることも見据え、「地域の介護福祉サービスなどと連携する仕組みも整備すべきだろう」と指摘する。

フローラ西一之江は近く、残る2室も埋まる見通し。持田代表理事は年度中に同区内で3カ所のシェアハウスを開く計画という。

(石川淳一)